

進化と継承

福井県議会議員

ささ はら のぶ ゆき

笹原修之 NEWS

みなさまの声を
県政に届けます

日頃より福井県政の発展に向けた活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

北陸新幹線福井開業から半年以上が経ち、県内では様々な課題が見えてきました。全線開業まで残り2割となり、今年末を目途に駅位置と詳細ルートが公表される予定であります。8月末には来年度の予算編成に向けた「事項要求」が提出され、令和7年度の認可・着工を目指しております。これから大変重要な局面を迎えますので、引き続き全力で取り組んでまいります。

8月26日～28日 厚生常任委員会 / 北海道視察

26日 ニセコ町

官民連携で環境に配慮した街区「ニセコミライ」の取組を視察しました。省エネ&再エネで二酸化炭素排出量86%減を目標に掲げ、人口減少による空き家問題解決のため「戸建て住宅の整備」ではなく、光熱水費が月／9,500円定額の「高気密・高断熱マンション建設」で人口を微増させていました。



小西町議会議長(中央)と片岡町長(右)

27日 寿都町

高レベル放射性廃棄物の最終処分場選定の第1段階「文献調査」に応募した寿都町を視察しました。人口2,600人の寿都町では人口減少対策として「道立病院の受託」と「最終処分場選定に向けた文献調査の受入れ」を柱とし、文献調査の受入により国から20億円を交付され、道立病院も町営で健全経営化させました。次は、日本海の風が税収に繋がる「洋上風力発電」に取り組むとのことでした。

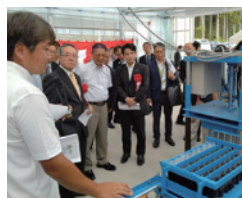
28日 幌延町

高レベル放射性廃棄物の地層処分研究を行う国内唯一の地下研究施設「幌延深地層研究センター／ゆめ地創館」を視察しました。「地層処分」とは、放射性廃棄物をガラス固体化し、金属製の筒で覆い、粘土の緩衝材で守る32トンの物体を、地下300メートル以深の地層に埋めるというものです。人間が数万年前を予測するには限界があるため、地下水の動きや地殻変動等を研究し、1,000年後も金属が腐食せず、10,000年後も地球に悪影響を与えない地層学に基づいて行う最終処分方法だそうです。



9月30日 ウッド・ナーサリー・サカイ竣工式

坂井森林組合様が福井県林業の苗木不足の課題に取り組む施設「ウッド・ナーサリー・サカイ」が竣工しました。少花粉スギやヒノキを中心に、通常2年かかるコンテナ苗木栽培を完全環境管理型ハウスで1年に短縮し、年間10万本の育苗能力を持つ大型施設です。生産された苗木は運搬用ドローンで吊るし、最大120本(15kg)を1km先まで安全に運び、人力運搬の作業負担を低減させます。苗木生産から植栽、育林、伐採、加工・バイオマス利用まで一体的に行える体制で、今後はこの施設での技術と経験を積み上げ、福井県の林業をさらに盛り上げていきたいと思っています。



北陸新幹線福井開業後の観光政策について

Q. 福井県観光連盟が県内約90エリアの観光地から集めた「FTAS」のオープンデータは、県内観光の生の実態調査であり、今後のさらなる観光客の満足度向上に向けて、市町と共に県域全体で継続的に活用していくべきであると考えますが、中村副知事の所見を伺います。

Q. 質の高いプレミアム体験コンテンツの造成や、高付加価値化による観光施設の磨き上げとともに、地域住民の満足度を両立させるために、どのような施策が必要と考えているか伺うとともに、その財源として「宿泊税」の導入を検討してはどうかと考えますが、県の所見を伺います。

Q. 北陸新幹線開業効果でMICE(各種大会や国際会議の総称)の福井県開催が増えてきていますが、福井駅周辺の宿泊キャパ不足で県外宿泊に流れる可能性があります。既存の宿泊施設の増強や、県内外からの投資や出店を呼び込む次なる方針はあるのか県の所見を伺います。

Q. 「あわら温泉」では、本年1月～7月までの宿泊状況は2019年比で約9割前後であり、コロナ禍前に戻っておりません。北陸新幹線福井開業効果を継続させるためにも、北陸DCはもちろんのこと、切れ目ない誘客にむけて長期的にどのような方策をお考えか、県の所見を伺います。



菅原的まとめ

FTASを活用し、福井の魅力が世界に伝わるような観光政策を期待します。

A 中村副知事

FTASは福井県観光の動向やニーズが把握しやすく、商品の売上げ予測や価格設定などいろんなことに使えるようになってきております。今後は市町と共にデータのボリュームを増やしていき、分析についての勉強会を継続して開催することで、観光DXを活用した稼ぐ観光を進めてまいります。

A 交流文化部長

県観光連盟のアンケート結果によると、地域の魅力や観光資源が観光客に評価されることで、自分の住む地域に愛着と誇りを持ち、県民の満足度向上につながると考えております。宿泊税は東京都や京都市など3都府県6市町が導入していますが、課税による負担感なども考慮し、慎重に検討したいと考えています。

A 交流文化部長

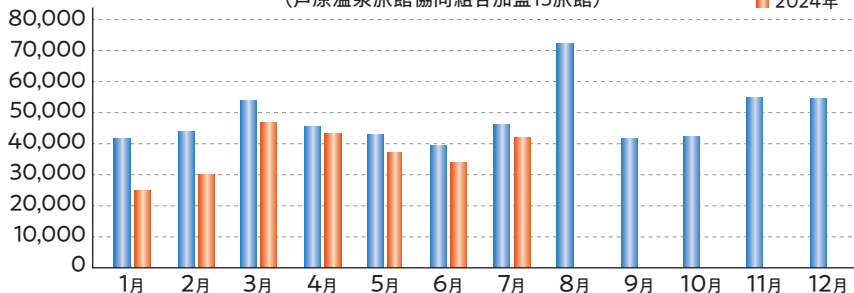
FTASによると、福井駅周辺ホテルの土日の稼働率は9割を超えており、大規模イベント開催時には1,000名程度の客室数が不足すると認識しております。今後は福井駅周辺で約300室程度の宿泊施設が増える見込みで、県もホテル誘致の補助金を活用して福井駅周辺への進出を呼びかけ、積極的な投資を働きかけていきます。

A 交流文化部長

長期的な誘客拡大を図るため、東北地方を新たなターゲットに位置づけ今秋から出向宣伝を開始し、また、関西万博来訪者や中京地域での誘客プロモーションも強化します。新幹線・中縦開通をベースとした長期的な方針を示すため、観光政策の指針となる新たな観光ビジョンの策定を開始し、今後も切れ目ない誘客につなげていきます。

あわら温泉宿泊者数の比較

(芦原温泉旅館協同組合加盟15旅館)



カーボンニュートラルに向けた福井港の利活用について

Q. 2月の一般質問で、「福井港を洋上風力に対応させ、将来的にはカーボンニュートラル関連産業拠点を目指す」という提案に対し、土木部長より「岸壁やヤードの整備は国土交通省や関係者と協議を進めており、テクノポート福井への企業誘致や新産業の創出に努める」とありましたが、進捗を伺います。

Q. 全国で7港が基地港湾に指定されています。県は洋上風力の建設において「福井港」が活用されることを念頭に置いて伺っていますが、基地港としての指定の有無にかかわらず、福井港を洋上風力発電の工事ヤードとして整備する考えをお持ちなのか、知事の所見を伺います。

A 土木部長

福井港の岸壁整備に関しては、今年度も事業者等と協議を行っており、使用する岸壁やヤードの利用範囲等について調整を始めています。また、カーボンニュートラル関連企業の誘致は引き続きテクノポート福井への立地を働きかけており、新産業の創出に向けては、県工業技術センターにエネルギーやリサイクルに関する研究グループを設け、カーボンニュートラルに資する技術開発を促進しています。

A 知事

あわら市沖の洋上風力発電の実現に向けて、県も最善の力を尽くしていきたいと考えています。県としては、港湾法上の基地港湾となるかどうかに関わらず、福井港の整備や維持管理拠点として積極的に進めていきたいと考えており、製品の組立や積み出しのための岸壁やヤードを事業者が作るか、県が整備して貸し出すかなど事業者ともコミュニケーションを取りながら支援をしていきたいと考えています。

Q. 脱炭素計画と並行して福井港の長期構想を作成し、港湾計画を改訂していく必要があると考えますが、福井港の港湾計画には「海洋再生可能エネルギー発電設備等の設置」が位置付けられているのか、そしてカーボンニュートラル産業の拠点エリアの実現は描かれているのか、県の所見を伺います。

A 土木部長

「海洋再生可能エネルギー発電設備等の設置」につきましては、事業者の利用計画が具体的に定まっていないことから、**現行の福井港湾計画において位置づけはございません。**現在、長期構想に相当する「福井港振興ビジョン」の改定に向け、今後の福井港利活用の方向性について勉強会を行っており、**洋上風力発電事業者の利用計画が具体化した段階で港湾計画の変更についても検討**してまいります。

Q. 8月27日に、あわら市沖上風力における経済・観光関係者向けの意見交換会が開催され、今年度は「経済波及効果調査」に取り組むと伺っていますが、具体的な内容や進捗、実施スケジュールとともに、**参加者からはどのような意見が出たのか**、県の所見を伺います。

A エネルギー環境部長

経済波及効果調査は、地元企業への受注規模や新規雇用などを調査するもので、**年度内に成果を取りまとめます。**意見交換会の参加者からは、**誘致による恩恵や観光資源としての活用に期待**する一方で、**自然環境への影響を懸念**する意見もありました。今後は漁業関係者も含めて意見交換会を継続開催し、事業に対する疑問や懸念の声に丁寧に対応し、近隣自治体とも緊密に連携して関係者の理解醸成に努めます。



荻原的まとめ

環境にやさしく、福井の実情に
合わせたエネルギー政策を期待します。



街路樹の維持管理における緑地行政について

Q. 「ふくい高校生県議会」の打合せで金津高校生から「**学校周辺の街路樹の根上りによる歩道破損は誰に相談すればいいかわからない**」と質問を受けました。通学路や商店街など私たちの生活環境における道路や歩道の景観づくりや街路樹整備には改善の余地を感じますが、県の所見を伺います。

A 土木部長

今年4月の街路樹調査では、交差点や横断歩道の近くで街路樹が見通しを阻害している箇所が約60か所あり、**今年度はそのうち通学路など優先度の高い支障木10か所程度の伐採を行う**予定です。また、街路樹の根上がり箇所についても今後現地調査と対応を行い、維持管理の方法についても検討してまいります。



根上りによる植樹木の破損
(金津高校通学路)

Q. 物価高騰や労務管理費が上昇する中、県内の街路樹路線において、歩行者の利用頻度や優先度を勘案し、適切な樹種や植栽位置の選定、定期的な管理など、**路線にメリハリを持たせた「路線別管理計画」を策定し、計画的に維持管理を行っていく必要がある**と考えますが、県の所見を伺います。

A 土木部長

枝葉の剪定や害虫防除などの定期的な維持管理に加え、街路樹の現況調査などにより、見通しを阻害する街路樹等を把握し、**順次対策を進めてきたところ**です。今後は歩行者の数や路線の沿道条件を考慮し、**エリアごとにメリハリのある管理計画を検討し、住民の皆様の御意見なども参考に、計画的に対策を行ってまいります。**

Q. 県管理道路の植栽延長は約210km、本数は約1万8,000本、維持管理予算は年々減額され約1億7,000万円ということですが、今後、街路樹の総数はどうしていくのか、**今の街路樹を植え替えるのか、減らしていくのか、そして今後どのように街路樹を守っていくのか**、県の方針について伺います。

A 土木部長

街路樹の老朽化対策や資材・労務費の高騰による維持管理コストの増加などに対応するため、例えば福井市内の桜通りの老朽化した桜の植え替えや、鯖江市の歩行者の通行の支障となっている街路樹伐採など、**街路樹の総数を管理し、コスト縮減を図りながら適切に維持管理していくことが重要である**と考えています。



歩道の根上り(金津高校通学路)

Q. 平成28年には専門家と県職員で構成する「都市緑化研究会」で街路樹再生に向けた動きもあったようですが、**街路樹の維持管理に対する統一的な管理指針となる「街路樹再生計画」を策定し、場当たり的な対応ではなく、計画的に緑化を進めていくべき**と考えますが、県の所見を伺います。

A 土木部長

街路樹再生計画につきましては、**効率的・合理的に街路樹管理を行う上で非常に重要であると認識**しております。他県の先進事例や地域住民、専門家の御意見も聞きながら、**適正な総数管理を踏まえた維持管理の方法について検討を始めていきたい**と考えています。



歩道を狭める植樹樹



荻原的まとめ

県民の心を豊かにし、
自信と誇りが持てる福井型緑地行政を期待します。

普段どういう活動をしているの？

笹原修之の活動報告

【2024.7▶9】抜粋

詳細は
Facebookを
ご覧ください。



金津まつり響宴



県民スポーツ祭総合開会式



こどもおしごとパークを視察



発掘恐竜王国展(新宿高島屋)を視察



福井県東京事務所を視察



竹田川河川改修促進協議会総会



吉崎湖畔の夕べ



福井県福井バイパス道路建設促進協議会



青ノ木納涼祭



嶺北消防組合消防総合訓練



あわら市戦没者追悼式



あわら湯かけまつり



ふくい高校生県議会



菅野区夏祭り



福井港湾事務所を視察



あわらカップカヌーポロ大会



伊井地区にて稲刈り体験



北潟湖畔花火大会



福井県木材組合連合会意見交換会



ふくい自転車を活用したまちづくりサミット

県政についてのご意見・ご要望をお聞かせください!!

明るい未来を目指して。福井 **新・時代**

福井県議会議員 **笹原修之**

【事務所】〒919-0632 福井県あわら市春宮三丁目19-15 (ハロープリント内)
TEL 0776-73-4513 / FAX 0776-73-1036 E-mail: sasahara@helloprint.co.jp

Check!!

日々の活動を随時更新中!

笹原修之

検索

